



長門の話題 Topics

わいわい子どもセンターが完成

子育て世帯支援のために

核家族化や共働きなどが進む中、子育て世帯を支援するため旧油谷中央公民館の跡地に「わいわい子どもセンター」が建設され、完成を祝う会が3月26日(木)に行われました。大西市長は、「太陽光発電を活用したり、地域の防災拠点としての役割も持った施設ができました。安心して子育て

ができるよう、この施設が役立つことを祈っています」とあいさつしました。テープカットが行われると、さっそく菱海保育園の園児たちがクジラをモチーフにした遊具で遊んでいました。このセンターには油谷児童クラブと油谷子育て支援センターが入ります。



▲クジラをモチーフにした遊具



▲大西市長と三輪市議会議長（右）が児童代表とテープカット

市内小中学校で入学式

新しい学校生活がスタート

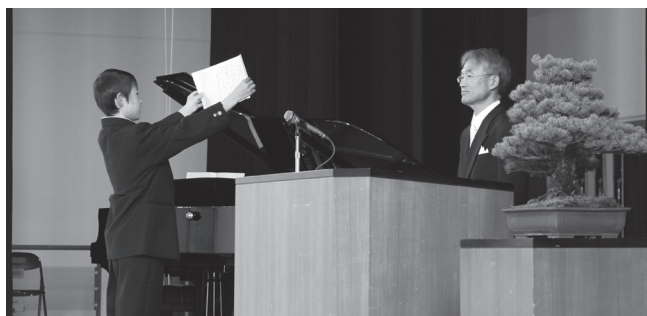
4月8日(水)、市内各小中学校で入学式が行われました。明倫小学校では、27人が入学し、新江田智司校長の式辞を目を輝かせて聞いていました。在校生からは歓迎の言葉が贈られました。

また、日置中学校では31人が入学しました。新入生を代表して、山本尚樹さんが藤田譲二校長に「日置中学校の生徒としての誇りを持ち、勉強や運動に励むことを誓います」と大きな声で宣誓しました。

この日市内では、11校の小中学校で258人、6校の中学校で261人が入学しました。



▲児童一人ひとりが紹介される（明倫小学校）



▲宣誓する山本さん（日置中学校）

環境美化で表彰、伝承活動で補助

子どもたちの活動をたたえる

環境美化運動に貢献している単位子ども会の表彰式が3月21日(土)、教育委員会別館会議室で行われました。

また山口県文化財愛護伝承活動補助金交付式も行われました。



▲表彰や補助金交付を受けた子ども会の代表者と関係者

表彰を受けたのは日置地区の中村子ども会で、40年以上に渡って地区集会所前の花壇の維持管理に積極的に取り組んできました。

「通鯨唄」を27年以上伝承している通地区子ども会と、地域伝統行事を復活させ37年にわたって継続している下郷子ども会（深川地区）に補助金が交付されました。

3月18日(水)、平成10年10月1日に開館した長門市立図書館の来館者が20万人を達成しました。



▲200万人目となった2人

図書館に200万人目の来館者

多くの利用者に支えられ

200万人目となったのは、仙崎中2年楠田杏菜さんと小茅祐月さんです。2人には、江原健二教育長から花束と記念品が贈呈されました。

消防思想の普及などで山口県知事表彰

消防への貢献が認められる

3月19日(木)、市長室で「平成26年度山口県知事表彰受賞」を受けた東深川保育園の園児が市長報告をしました。

この表彰は、消防思想の普及などに貢献した団体に贈られるもので、毎月9日に避難訓練を行ったり、ながとふるさとまつりの防火パレードで



▲受賞報告した代表の園児2人

山口県議会議員一般選挙 投・開票結果

平成27年4月12日執行

長門市	男	女	計
当日有権者数(人)	13,964	16,881	30,845
投票者数(人)	9,429	11,863	21,292
投票率(%)	67.52	70.27	69.03

	候補者氏名	党派	長門市
当	かさもと俊也	自由民主党	11,847
	村田 信二	無所属	9,181
	無効票その他		264
	計		21,292

■問い合わせ
長門市選挙管理委員会 Tel 23-1167

可燃性ごみ共同処理施設「はなもゆ」竣工式

みんなに愛される施設に

萩市と長門市による初めての共同事業となった可燃性ごみの共同処理施設「はなもゆ」の竣工式が、3月25日(水)行われました。

竣工式で萩・長門清掃一部事務組合の野村興児管理者は、「萩市と長門市での初めての共同事業です。両市協力して適正な維持管理と安全・安心に取り組んでいきたい」と

思います」と述べました。

また、副管理者の大西市長は、「今回の「はなもゆ」は、ごみの焼却だけでなく環境学習や災害時の避難所としても役立つ施設になっており、これから両市民に愛される施設になるように願っています」と話しました。

「はなもゆ」は4月1日から本稼働を始めました。



▲竣工式の後、記念植樹も行なわれた

和牛飼育新規就農者が市長を表敬訪問

全国公募で移住・新規就農

3月24日(火)、昨年度が行なった全国公募により選ばれ、日置西坂本に移住し和牛飼育に取り組む大阪府出身の白岩勇一さんが市長を表敬訪問しました。

大西市長は「農事組合法人と連携を図りながら全国のモデルとなるよう頑張ってください」と歓迎しました。

白岩さんは「妻が油谷出身で長門市に住んでみたかった。頭数も増やしていきたい」と語りました。

来年度4月からの経営開始を目標に、日置地区の飼育農家での実践研修や農業大学校での研修などを受ける予定です。



▲これからの意気込みを話す白岩さん(左)

人門の長 People

自慢の笑顔でがんばります！

かながわ 金川 楓さん (長門市役所勤務)



※仕事は 税務課で事務をしています。まだまだ覚えることばかりで、先輩方のご指導のもと、勉強の日々を送っています。仕事中は、笑顔でいること、元氣な返事を心がけています。

※就職のきっかけは 進学のために一度長門市を離れたことで、あらためてこの地の良さを知り、帰ってきたいと思ったからです。アルバイト先のカフェで、長門産の食材のおいしさを再認識しました。



くとともに、私自身も満喫していききたいと思います。

熱血！新鮮力

安倍昭恵さんがキャンプ招致アドバイザーに

招致に向けて、大きな力に

安倍晋三内閣総理大臣夫人の安倍昭恵さんが、3月22日(日)、ラグビーワールドカップ2019長門市招致委員会アドバイザーに就任しました。

同委員会では、ラグビーワールドカップ2019大会のキャンプ地としての招致活動に対する専門的な提言や助言をもらうことで市民の機運を盛り上げ、キャンプ招

致活動を内外に周知するため、地元になじみの深い著名人をアドバイザーとして委嘱しており、これまでに地元出身の中島修二さん(元ラグビー日本代表)と数木宏之さん(神戸製鋼ラグビー部OB)が就任しています。

大西市長から委嘱状を手渡された昭恵さんは、「実現できるように協力したいと思います」と話しました。



▲委嘱状を手にする安倍昭恵さん

日置地区に「農事組合法人きずな」が誕生

土地を受け継ぎ、活性化を

3月29日(日)、「農事組合法人きずな」の設立総会が日置地区の黄波戸口転作センターで行われました。

代々受け継いだ土地を守り、地域の活性化を目的として設立されたもので、4月1日から法人として活動を開始しました。



▲18人の会員で活性化に取り組む

俵山大羽山交差点横に「俵」モニュメント

俵で俵山の魅力をアップ

3月26日(木)、俵山大羽山交差点横に「俵」モニュメントのお披露目が行われました。俵山の魅力づくりのために、俵山知恵だし会議で「俵山」の地名の由来となった米俵のモニュメントを製作したもので、関係者や俵山小の児童らによって除幕されました。



▲俵は俵山在住の内野泰蔵氏が製作